

# Caremanagement Of Katsushika

# 広報 けあとも

発行

葛飾区介護サービス事業者協議会  
 居宅介護支援部会 広報委員会  
 編集責任者 永井 圭

## 5月研修会報告

5月17日(木)午後2時より、研修会を開催致しました。

まず始めに、介護保険課管理係 館野満義氏をお迎えして、軽度者に対する福祉用具の取り扱い 葛飾区における地域密着サービス等について、お話し頂きました。

続いて、葛飾区社会福祉協議会 伊藤明氏をお迎えして、しあわせサービス ハンディキャブ「ふれあい号」生活支援ボランティア しっかりサポート等、ケアマネジャーに役立つ社会資源について、お話し頂きました。

最後に、シルバー人材センター事務局長 秋田貞夫氏をお迎えして、シルバー人材センターの内容や仕組み等について、お話し頂きました。

今回の研修は、雨模様ではありましたが、約95名もの参加者で、会場が埋まりました。また、アンケートの集計結果でも、「興味深く、是非活用していきたい」等、多くの意見も頂きました。

また、今回の研修から30分、時間を延長しておりますが、ご理解頂ければと思います。

## 耳寄りお役立ち情報

今回は、厚生労働省がサッカーのリーグと連携して、介護予防に取り組んでいく方針を決めた事をお伝えします。

現在、介護保険の総費用は、今年度約7.4兆円となり、制度開始時に比べて約2倍に跳ね上がりました。そのため、制度改正で、介護給付費抑制を狙った目玉事業の一つとして、「介護予防事業」を導入しました。

しかしながら、昨年度の調査では、実際利用するはずの対象者が、65歳以上人口の0.21%にあたる約5万人弱にとどまり、想定していた約3%を大幅に下回ってしまいました。

そこで、厚生労働省は、人気や知名度のあるリーグの力を借りて、「介護予防事業」を各地に広めていくといった解決策を考えたのです。全31チームを対象に、今年度約4700万円の補助金が、交付されることになっており、健康増進や体力向上のためのスポーツイベント等が、開催されることになるのでしよう。

今後、「介護予防事業」を広めていくには、枠にこだわらない発想や新しい視点が、必要となってくるのでしようね。



## 7月研修会のお知らせ

日時：7月12日(木) 14:00～16:30  
 場所：シンフォニーヒルズ別館5階 レインボー

先日お知らせしましたが、今回は「医療現場に学ぶ」と題して、講師に、葛飾区医師会指定居宅介護支援事業所 桑原彰子氏をお願いしています。

医療側から見たケアマネジャーとしての必要な知識や、主治医との上手な連携について等の講義を、しっかり学んでみましょう。

## 減算項目について

6月6日(水)以降、コムスンの問題が、毎日のように新聞紙に掲載されていますね。法令を遵守するために、再度、運営基準減算となる項目について確認をしていきましょう。

アセスメントは、利用者の居宅を訪問し、利用者及びその家族と面接しなければならない。

サービス担当者会議の実施(やむを得ない場合は、照会) 更新及び変更認定後、当該月に実施する。半年に1回の福祉用具貸与についても同様。

居宅サービス計画の内容について、利用者又はその家族に対して説明し、文書により同意を得て、交付する。指定居宅サービス事業者等

にも交付し、その結果を記録する。1～3表の整合性や変更後のサービスがプランから落ちないように注意する。

モニタリングは、少なくとも一月に1回、利用者の居宅を訪問し、面接することとし、その結果を記録する。指定居宅サービス事業者等との連絡も継続的に行う。

以上、簡単にまとめてみました。その他、イレギュラーなサービス(例、同居家族がいる際の生活援助、院内介助を算定している等...)を居宅サービス計画に組んでいる場合については、アセスメントの結果、なぜそのニーズが生まれたのかを、明確にしておくべきでしょう。

## 編集後記

今年度の「介護サービス情報の公表」や「介護支援専門員専門研修(前期)」の計画が通知されました。ほんとうに1年経つのは早いですね。

これから迎える、暑い夏に向かって、自分自身にとってもポジティブプランを考えていきたいものです。(永)